

請 願 文 書 表

(教育委員会)

受 理 番 号	1 1 2 1	受 理 年 月 日	令 和 4 年 2 月 24 日
件 名	小学校のような全員制の中学校給食の実施		
要 旨	<p>コロナウイルス感染が長期化することで、経済的な格差の広がりを更に大きくし、生活の困窮と子供の貧困をより深刻なものにしている。感染の第6波の原因となるオミクロン株は子供たちに感染し、保育園、学童保育、学校を閉鎖せざるを得ない状況が多発し、栄養バランスの取れた給食を1日1回取ることができなくなっている。</p> <p>コロナ禍で子供の成長と学習活動以前の問題として、ストレス、自死などの精神的不安定、食の貧困、またヤングケアラーなどが社会問題としてより顕著になり、命に関わる問題として深刻さを増してきている。</p> <p>子供たちの保護者は、園や学校の閉鎖で仕事を休まざるを得なくなり、収入が減って生活困窮の限界まで来ている家庭が発生している。そのような中、今給食が豊かな成長と学習活動を保障するだけでなく、このコロナ禍で生命維持の役割が再認識され、社会保障として重要になっているところである。</p> <p>全国の中学生の約85パーセントが給食を食べている中で、京都府では37.7パーセントと、全国ワースト2位となっている。これは京都市が全員制給食を実施していないことが大きな要因となっている。また、政令指定都市の中でも京都市は後れている。全国では当たり前となった全員制中学校給食を一刻でも早く実施してほしいという要望が日に日に増している。</p> <p>現在、中学校でデリバリー給食を注文している中学生のほとんどが、小学校の給食の方が良かったと言う。中学生も待ち望んでいるのである。</p> <p>どの子も温かく栄養バランスの取れた全員制の中学校給食が食べられるよう京都市としても取組が進められることを求め、下記のことを願う。</p> <p>1 小学校のような全員制の中学校給食を全ての京都市立中学校で実施すること。</p> <p>なお、本請願について、1,000筆の署名を添える。</p>		
請 願 者			
紹 介 議 員	玉本なるみ, 河合ようこ, とがし 豊, 井上けんじ		
付 託 委 員 会	教 育 福 祉 委 員 会		